

みずほCustomer Desk Report 2017/10/12号(As of 2017/10/11)

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	USD/CHF	公示仲値 GBP/USD	112.32 AUD/USD
TKY 9:00AM	112.36	1.1814	132.73	0.9747	1.3209	0.7786
SYD-NY High	112.58	1.1869	133.50	0.9767	1.3236	0.7810
SYD-NY Low	112.08	1.1796	132.47	0.9717	1.3175	0.7771
NY 5:00 PM	112.49	1.1858	133.41	0.9728	1.3225	0.7787
USD/JPY Volatility 1M ATM (NY Close Lvl)	8.695/9.045		25RR	1.498	Yen Call Over	
NY DOW	22,872.89	42.21	債券市場			
NASDAQ	6,603.55	16.30	日本2年債	-0.1410	0.3bp	
S&P	2,555.24	4.60	日本10年債	0.0660	1.1bp	
日経平均	20,881.27	57.76	米国2年債	1.5186	0.6bp	
TOPIX	1,696.81	1.67	米国5年債	1.9562	▲0.3bp	
シカゴ日経先物	20,975.00	120.00	米国10年債	2.3481	▲1.3bp	
ロンドンFT	7,533.81	▲4.46	独10年債	0.4630	2.1bp	
DAX	12,970.68	21.43	英10年債	1.3800	1.7bp	
ハンセン指数	28,389.57	▲101.26	豪10年債	2.8170	▲1.4bp	
上海総合	3,388.28	5.30	為替市況	USD/CNH	6.5737	0.0070
USDJPY 3M Vol	8.81	▲0.03%		ドルインデックス	93.02	▲0.28
USDJPY 6M Vol	9.22	0.04%	商品市況	CRB指数	183.496	0.30
EURJPY 3M Vol	8.45	▲0.07%		NY金	1,288.90	▲4.90
EURJPY 6M Vol	9.15	0.06%		WTI	51.30	0.38
				Dubai Spot	54.95	0.79

【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
10月11日	09:00	米 カプラン・ダラス連銀総裁 講演	-	-
	20:00	米 MBA住宅ローン申請指数	-2.1%	-
	20:15	米 エバンス・シカゴ連銀総裁 講演	-	-
10月12日	03:00	米 FOMC議事要旨	-	-
	03:40	米 ウィリアムズ・サンフランシスコ連銀総裁 講演	-	-

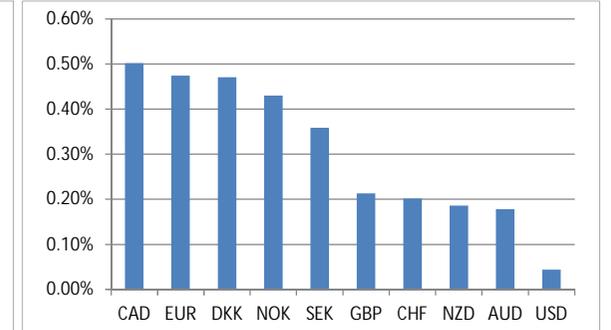
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
10月12日	08:50	日 国内企業物価指数(前月比/前年比)	9月 3.0%/0.2%	2.9%/0.0%
	18:00	欧 鉱工業生産(前月比/前年比)	8月 0.6%/2.6%	0.1%/3.2%
	21:30	米 PPI最終需要(前月比/前年比)	9月 0.4%/2.6%	0.2%/2.4%
	21:30	米 新規失業保険申請件数	- 250K	260K
	23:30	米 パウエルFRB理事 講演	-	-
	23:30	米 ブレイナーFRB理事 講演	-	-
	23:30	欧 ドラギECB総裁 講演	-	-

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	112.00-113.00	1.1800 - 1.1900	133.00-134.00

【マーケット・インプレッション】

昨日の海外市場のドル/円は下に往って来いの展開。エバンス・シカゴ連銀総裁が「もう少し緩和策を取る必要があるかもしれない」などと発言したことを受けて一時安値となる112.08まで下落。しかしその後、日経より「与党、300議席に迫る勢い」との報道が見られると、112円台半ばまで反発。引けにかけて発表されたFOMC議事録がややハト派寄りな内容となり、一時的に値を下げる場面が見られたものの、反応は限定的であった。本日は引き続きレンジ相場を予想する。堅調な日経平均株価に支えられる形で底堅い推移が見込まれるものの、次の材料待ちの状況に変わりはなく、上値は限定的と考えられる。本日は米9月PPI(前年比)の発表などが予定されている。

東京	東京時間のドル円は112.36レベルでオープン。前日海外時間の流れを引き継ぎ仲値にかけてはドル売り優勢の展開となり一時112.23まで下落。しかし、その後は米金利や日経平均株価の上昇に連れて一時112.58まで反発。その後は特段の新規材料ない中、動意に乏しい推移が続く112.36レベルで海外へ渡った。また、スペイン・カタルーニャ州のプデモン首相が正式な独立宣言を先延ばししたことを受けて前日海外時間に大きく上昇したユーロはもみ合い展開となった。対ドルで1.1814レベルでオープンした後、短期的なユーロロングポジションの巻き戻しなどから1.17台後半まで下落。しかし、この水準では相応の買い意欲が見られ、その後はじりじりと反発。一時1.1834まで上昇した後、1.1829レベルで海外へ渡った。(東京15:30)
ロンドン	ロンドン時間のドル円はユーロ円を中心としたクロス円の下落を背景に上値重く推移。112.36レベルでオープンした後、ロンドン午前8時近辺に112.43まで上昇。しかし、その後勢いは続かず、米金利低下による日米金利差の縮小、およびユーロ円を中心とした円買いを受け112円台前半で上値の重い推移が続く。112.23レベルでNYへ渡った。ユーロドルは1.18台前半で上下動。朝方は1.1829レベルでオープンし、ロンドン高値1.1844まで上昇。目立ったニュースがない中でユーロドルはロンドン午前10時前に下落し始め、スペイン首相が現地時間正午に演説をするという報道を受け、1.1802まで下落。その後は押し目で買いが入ったのか、ユーロドルは再び反発し、1.1829レベルでNYへ渡った。ポンドドルは1.3198レベルでオープンし、最終1.32ちょうど近辺でもみ合い推移。結局、1.3189レベルでNYへ渡った。(ロンドン・トルリ - 00531 444 179 日比野)
ニューヨーク	NY時間のドル円は112.23レベルでオープン。朝方はドル売りが継続したことから、ドル円は112.08まで下落する。しかしこのレベルでは買い意欲もあり、じりじりと112.48まで値を戻す。午後に入りFOMC議事要旨発表を前にドル買いがやや強まり、発表直後に112.58まで戻したものの、議事要旨において「一時的でない低インフレを懸念している」とのややハト派と取れる見解が示されたことから、ドル売りが優勢となり、112.33まで下落する。ムニューチン財務長官が利上げに慎重なパウエル理事のことを強く推しているとのヘッドラインが伝わったものの、ドル円の反応は限定的となり、112.49レベルでクロスした。一方、ユーロドルは、1.1829レベルでNYオープン。朝方はドル売りが継続したことから1.1858まで上昇する。その後は1.1850付近での推移が続くが、FOMC議事要旨発表後にドル売りが優勢となったことから1.1869まで上昇する。終盤に掛けては開散な取引が続き、1.1858レベルでクロスした。(NY井上)

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断なさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。